

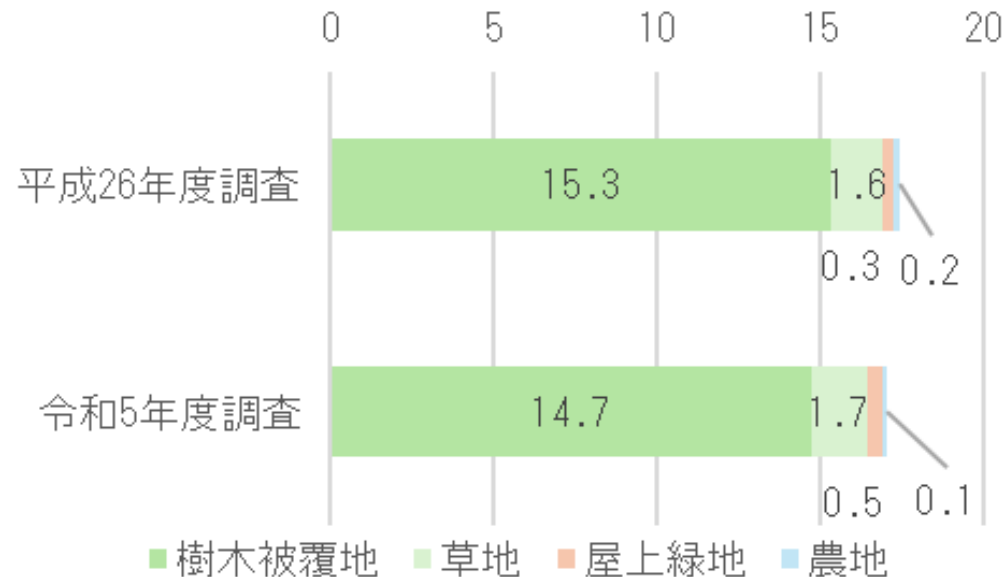
# 計画の基本理念・ 将来像、目標の 設定について

---

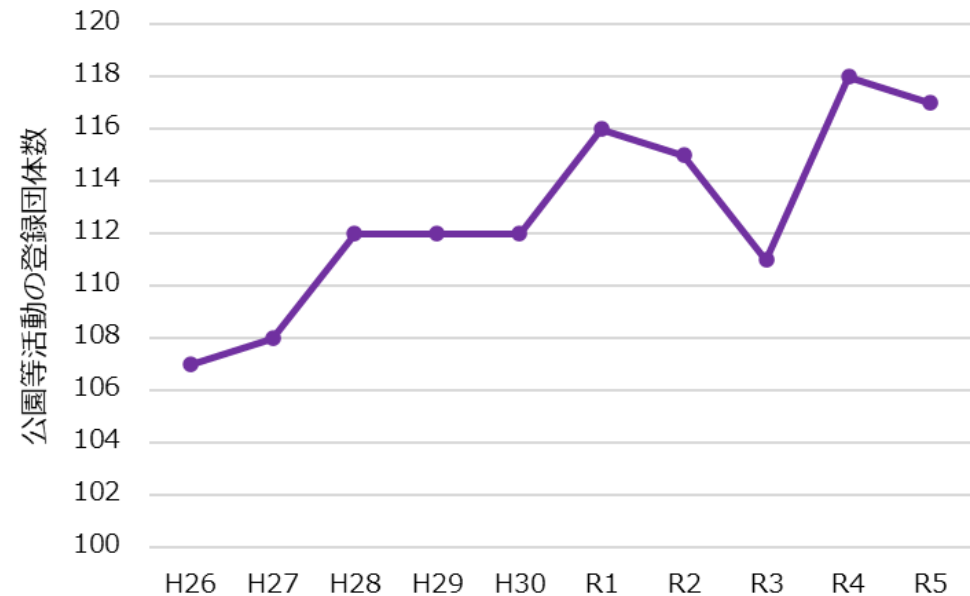
# 1. 現行計画の課題

## (1) みどりの課題

- 緑被率の減少傾向への対応（特に民有地における小規模な樹林地の保全）。
- 公園が不足する区域での整備や公園機能の再配置。
- 人材育成や各団体への支援の強化。



【図1 緑被率の推移】



【図2 公園等活動の登録団体数】

# 1. 現行計画の課題

---

## (2) 生物多様性の課題

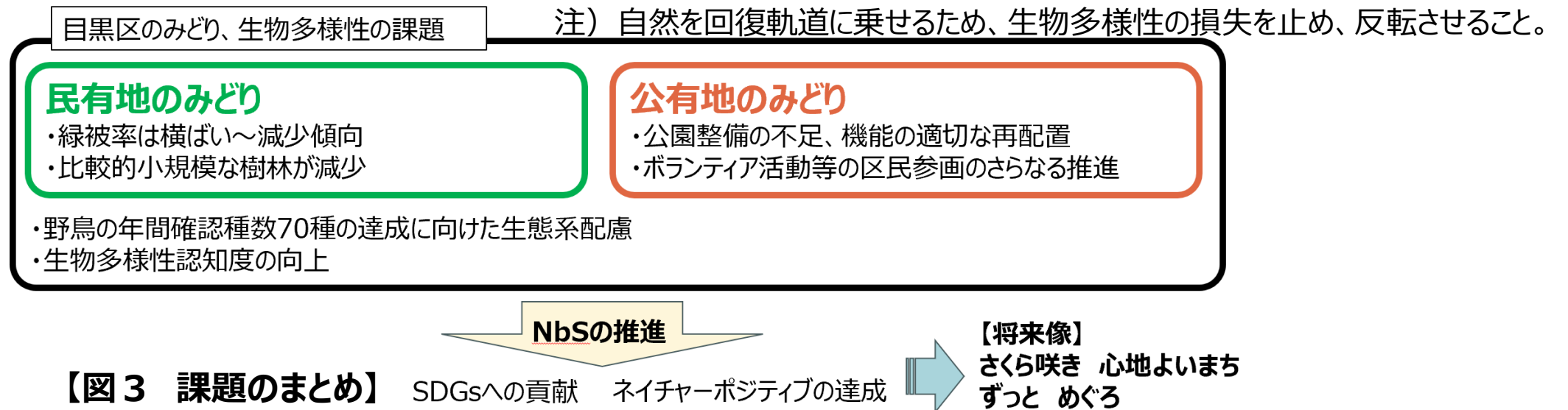
- 生態系に配慮したみどりの保全・創出に係る取組の充実。
- 公民連携で進める「めぐろの森」の保全管理。
- 生息・生育環境の保全、外来生物の防除等の普及啓発。
- 緑道や街路樹、個人の庭、生け垣、プランター等のいきものの移動経路の確保
- エシカル消費<sup>注)</sup> など生活の身近な問題として生物多様性に配慮した行動の促進

注) エシカル消費とは、人や社会、環境に配慮した消費行動のこと。

# 1. 現行計画の課題

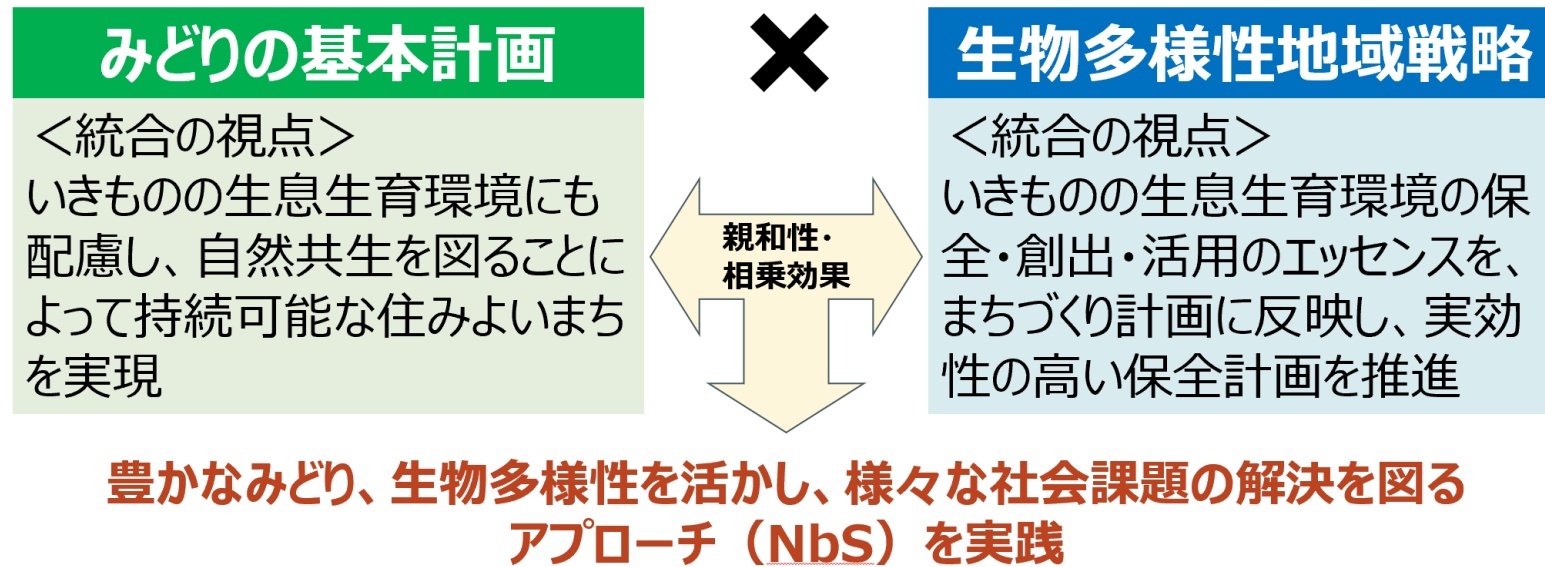
## (3) 課題のまとめ

- 民有地のみどりの保全、創出や、地域のニーズにあった公園整備によるみどりの機能の適切な配置が求められる。
- SDGsやネイチャーポジティブ<sup>注)</sup>等の潮流は、みどりの基本計画及び生物多様性地域戦略改定にあたっても重要な示唆を与える。
- 改定計画では、みどりや生物多様性の課題と、様々な社会課題を同時に解決するアプローチにより活動の幅を広げ、多くの区民や事業者等と連携を図っていくことが望まれる。



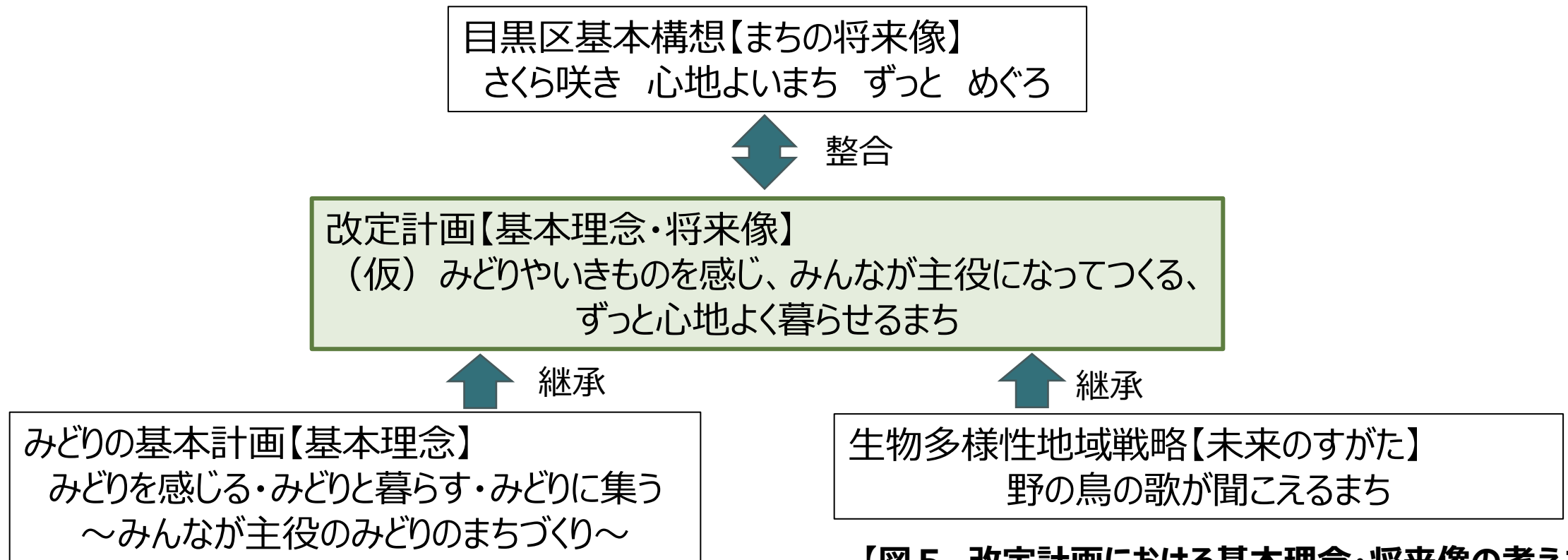
## 2. 計画改定の方角性

- みどりの基本計画及び生物多様性地域戦略は、目黒区基本構想で掲げる将来像「さくら咲き 心地よいまち ずっと めぐる」を実現する個別計画としての位置づけに留意し改定を行う。
- みどりの保全・創出及び生物多様性保全を総合的に推進するため、みどりの基本計画及び生物多様性地域戦略は統合して改定する。
- 改定計画では、両計画の親和性や相乗効果を活かし、豊かなみどりや生物多様性によって、気候変動やネイチャーポジティブ、ウェルビーイングなどの様々な社会課題の解決を図っていくことを方針とする。



# 3. 改定計画における基本理念・将来像の考え方

- ① みどりの基本計画及び生物多様性地域戦略の親和性・相乗効果を有効に活用しながらあらゆる社会課題との同時解決を図り、現行計画の将来像を実現するため、その理念を継承する必要がある。
- ② 改定計画は、目黒区基本構想で掲げる将来像の実現に寄与する個別計画の位置づけであるため、将来像の整合性に留意が必要である。



【図5 改定計画における基本理念・将来像の考え方】

# 3. 改定計画における基本理念・将来像の考え方

## 【基本理念・将来像の設定の考え方】

### ①みどりやいきものを感じ

→みどりの基本計画「みどりを感じる」、生物多様性地域戦略「野の鳥の歌が聞こえる」を継承

### ②みんなが主役になってつくる

→みどりの基本計画「みんなが主役のみどりのまちづくり」を継承

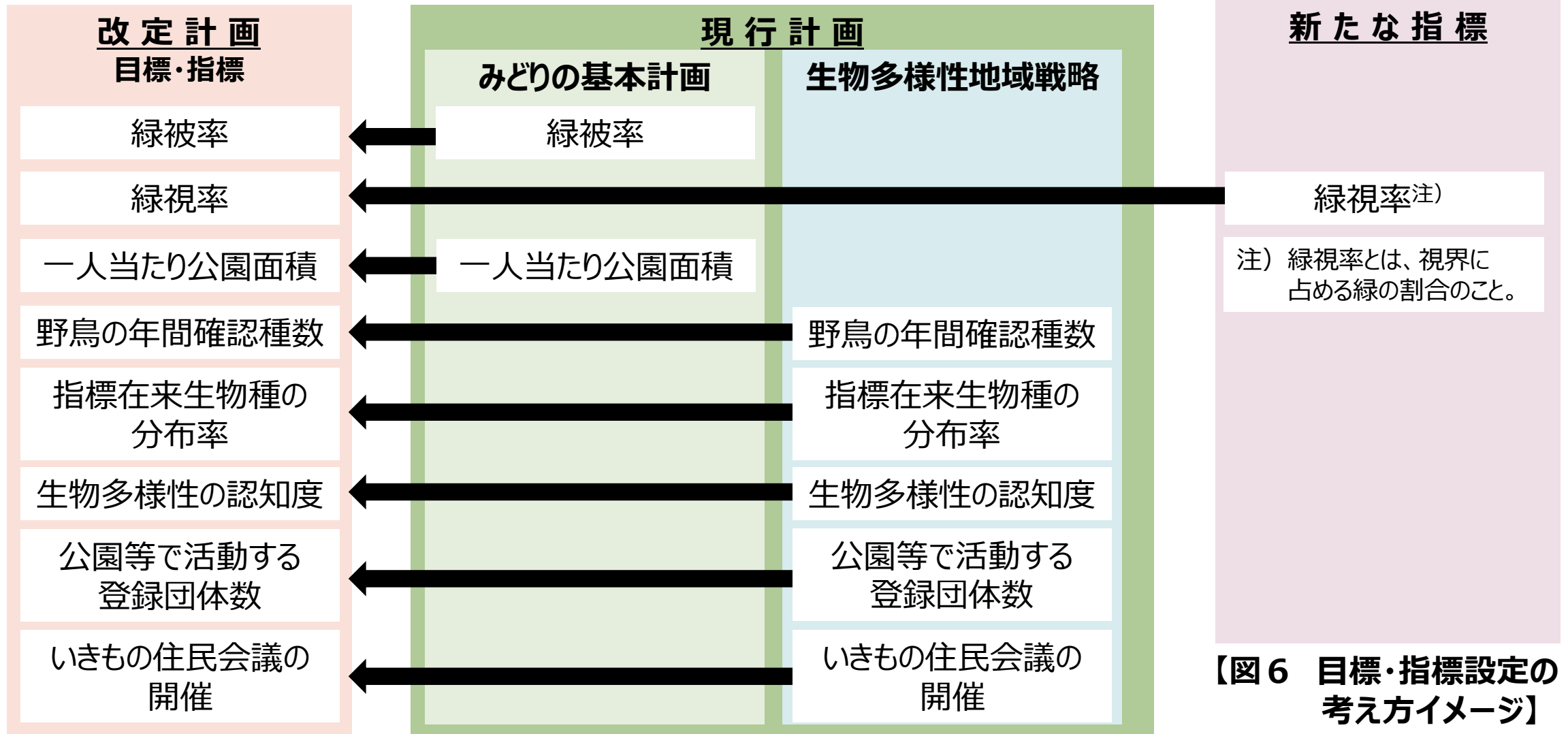
### ③ずっと心地よく暮らせるまち

→基本構想将来像「さくら咲き心地よいまち」への寄与

→様々な社会課題との同時解決が図られることで、いつまでも暮らしたくなるまちを実現

# 4. 目標・指標設定の考え方

- 両計画の目標・指標を引き継ぐとともに、緑視率等の新たな指標の設定についても検討を進める。



【図6 目標・指標設定の考え方イメージ】

# (参考) 現行計画の基本理念・将来像

計画等	基本理念・将来像	内容
<b>目黒区基本構想</b> 令和3年3月 (2021年3月)	さくら咲き 心地よいまち ずっとめぐろ	<p>目黒区は、便利で治安が良く、落ち着きのある住宅地とにぎわいのある商業地とが共存する「暮らしやすいまち」です。こうした住環境とともに、目黒の良好な環境の象徴ともいべきまちのみどりや点在する歴史・文化資源、そして様々な地域の活動なども、後世に引き継いでいかなければなりません。</p> <p>また、多様な区民が暮らすまちだからこそ、多様性が生かされ、誰一人取り残されることなく、安心して生き生きと自分らしく暮らし続けられる地域社会を、区民と区が共に力を出し合って築いていくことが求められます。</p> <p>将来像に示した「さくら咲き」は、目黒らしさという視点を踏まえて、みどり豊かな環境とそこで暮らす区民の笑顔を「さくら」に例え、時代を通じて花が咲き誇る姿をイメージして表したものです。</p> <p>目黒区は、将来にわたり社会や環境が目まぐるしく変化する中であっても、地域で暮らす人や働く人、学ぶ人はもちろん、訪れる人も、誰にとっても、いつでも、いつまでも「心地よい」と感じることができるまちを目指します。</p>

# (参考) 現行計画の基本理念・将来像

計画等	基本理念・将来像	内容
<p><b>目黒区みどりの基本計画</b> 平成27年3月(2015年3月)</p>	<p>みどりを感じる・みどりと暮らす・みどりに集う ～みんなが主役のみどりのまちづくり～</p>	<p>みどりは、私たちの心にやすらぎや豊かさを与えるとともに、快適な暮らしを支え多くの恩恵を与えています。</p> <p>私たちは、身近な場所のみどりを守り、創り、はぐくむ活動に参加し、一本の木でも大切にはぐくんできました。庭や街かどの花壇等で小さくとも工夫を凝らしながらはぐくまれたみどり、地域の特性を活かしながらかつられてきた公園や緑道、土地の歴史や文化を守り今に伝える鎮守の森や屋敷林、農地、庭園。このようなみどりが、みどりの多い落ち着いた住宅地というめぐろのイメージをつくっています。</p> <p>みどりによって培われためぐろのイメージを大切にしながら、より豊かな暮らしを実現していくために、これまではぐくまれてきたみどりを守り、まちの魅力を高めるみどりを育てていきます。</p> <p>私たち一人ひとりが質の高いみどりにふれ、みどりのもたらす恩恵を実感し、暮らしの中にみどりを取り入れ、公園や緑道等でみどりをはぐくむ活動をすることで、みどりと人、人と人がつながり、みどりの恩恵をまち全体へと広げていくことができます。</p> <p>そのようにして実現したみどり豊かなまちは、めぐろに暮らす私たちの誇りになります。</p> <p>「みどりを感じる・みどりと暮らす・みどりに集う ～みんなが主役のみどりのまちづくり～」を基本理念とし、一人ひとりが主役となってみどりをはぐくみ「ともにつくる、みどり豊かな、人間のまち」の実現を目指していきましょう。</p>

# (参考) 現行計画の基本理念・将来像

計画等	基本理念・将来像	内容
<b>目黒区生物多様性地域戦略</b> 平成26年3月 (2014年3月)	野の鳥の歌が聞こえるまち	<p>武蔵野の原風景として残されている「めぐろの森」では、森林の野鳥であるキビタキがさえずり、オニヤンマが行き交う目黒川では清流の女王といわれるアユが生まれ、商店街ではツバメが毎年巣づくりし、公園や緑地にはさまざまなチョウ類が舞い、水辺ではゲンゴロウ類が泳ぎ、私たちはみどりの中を歩き、旬に親しみ、まちで育まれるさまざまな身近ないきものとふれあっています。</p> <p>※ここでは「野鳥」ではなく「野の鳥」とすることで、かつての武蔵野の風景を思い起こすことをねらいとしています。本計画が、目黒区が誕生した80年前、まだ武蔵野の面影を色濃く残していた昭和初期のころの「人と自然の関わり方」を考慮した、自然と共生するまちづくりを目指すものであることを表しました。</p> <p>※めぐろの森：8つのエリア（駒場野の森、菅刈西郷山の森、東山の森、中目黒の森、下目黒不動の森、碑文谷の森、大岡山中根の森、東が丘衾）の森の総称です。</p>